超速乾溶融型すべり止め材

アトムハードカラーM

鉛・クロムフリー

アトムハードカラーMは、スリップ事故防止、車両運転時の減速効果、ならびに路面のカラー化による視線誘動にも役立てる製品です。この材料はポリアミド樹脂と硬質骨材を混入した粉体塗料で、溶解釜に入れ190～210℃に加熱溶融し、路面に塗布すると自然に冷却され固まる超速乾型の溶融すべり止め材です。

特　長

1.交通開放時間を大幅に短縮
エポキシ系ニート工法に比べ超速乾で、施工後10分(23℃)で交通開放が可能です。

2.骨材回収が不要
硬質骨材を製品中に含有させているため、施工後の骨材回収が不要です。

3.すべり止め効果に優れている
クシ歯を用いた特殊工法で硬質骨材を表面に突出させることにより、すべり止め効果を高めています。

4.耐久性が優れている
ポリアミド樹脂を使用することで塗膜の変形が少なく、長期にわたりすべり止め効果を持続します。非常に過酷な状況である、信号機のある交差点手前30mでも潰れにくく滑り止め効果を維持します。

5.夜間視認性の向上
施工面にガラスビーズを散布するので、夜間の視認性が向上します。

6.特殊な施工機は不要
施工は当社ライン施工機に若干の部品交換および調整で可能です。
施工幅:15cm･20cm･30cm･45cm

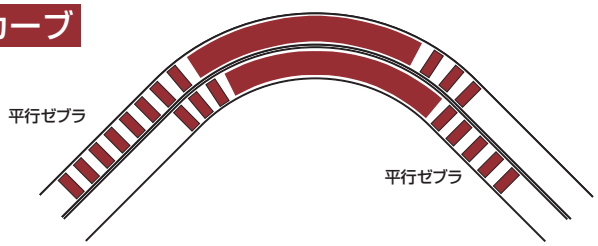
用　途

交差点･合流部･ETCレーン･三連ドット･カーブ進入禁止防止･出会い頭事故多発地点における注意喚起･減速マーク

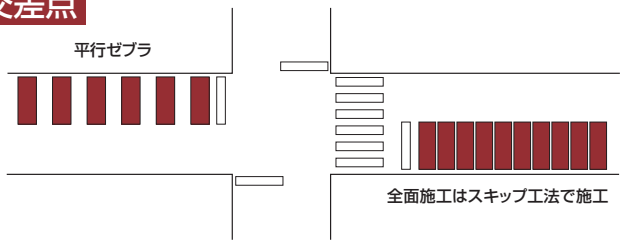
荷　姿

アトムハードカラーM　20kg/袋
プライマー No.3　15kg/缶

カーブ

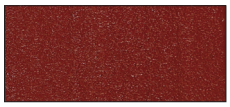


交差点



色

標準色


NLCブラウン

NLCETCブルー

受注生産色

NLCホワイト

NLCイエロー

NLCグリーン

（印刷見本のため、実際の色と多少異なることがあります）

ETCレーン

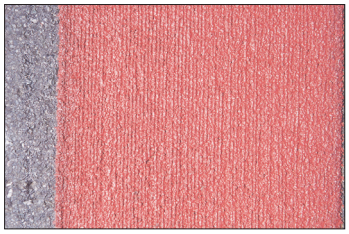
逆走防止

逆走防止

三連ドット

カーブ進入禁止

夜　間
（ゼブラ2本にガラスビーズ散布）


拡　大

施工中

アトミクス株式会社

1.標準施工仕様　　ゼブラ･全面スキップ仕様

工　程		材　料	アスコン面(密粒)	アスコン面(排水性)	コンクリート面
			使用量(m^2当たり)	使用量(m^2当たり)	使用量 (m^2当たり)
1	下地処理				
2	プライマー塗布	プライマーNo. 3	0.150kg ＊1)	0.150kg ＊1)	0.150kg(プライマーNo.3/No.2シンナー=1/1[重量比]) ＊1)
		—	—	—	0.150kg ＊1)
3	材料塗布	アトムハードカラーM	7.800kg ＊2)	9.500kg ＊3)	7.800kg ＊2)
4	ガラスビーズ散布	JISR 3301-1号ガラスビーズ	0.165kg ＊1)	0.165kg ＊1)	0.165kg ＊1)
5	養生				
6	交通開放				

＊ 特別仕様として6mm厚仕様もあります。詳細はお問い合わせください。

*1)ロス10%含む　　*2)ロス25%含む　　*3)ロス34%含む

＊ 作業上のロス率の詳細は標準施工仕様書をご確認ください。
＊ ゼブラ・全面スキップ仕様以外の仕様に関しては標準施工仕様書をご確認ください。

2.標準作業手順

交通規制 → 路面清掃 → 作　図 → プライマー塗布 → 材料塗布 → 後片付け → 交通開放

3.品質性能表

試験項目	アトムハードカラーM	試験方法
密　度(23℃)g/cm^3	1.9	JIS K 5665
硬化時間(23℃)(車両開放時間)	10分	タイヤ付着性試験
すべり抵抗値(BPN値/wet)	78(初期値)	ポータブル･スキッド･レジスタンステスター
耐変形性(%)(80℃)	98	社内試験　*1

上記の数値は代表値であり、規格値ではありません。

社内試験　*1
JIS K 5665に規定された内径20×20×20mmの型枠に流し込み、供試体を作製し、この供試体に2kgの分銅をのせ、80℃の雰囲気下で1時間放置します。供試体の高さをノギスで測定し、以下の式から耐変形性を求めます。
数値の大きい方が耐変形性に優れています。

$$耐変形性(\%)\ \frac{試験後の供試体の高さ(mm)}{20(mm)}\times 100$$

4.取扱い上の注意

当社自主基準による表示
(1)この製品は下記条件により爆発の危険性があります。取扱いには充分ご注意ください。
a. 保管場所の火気厳禁を徹底してください。
b. 溶融時、適正温度範囲を超えて加熱、溶融させると爆発する危険があります。
c. 溶融時、多量の水分を含んだ場合、釜の中で爆発する危険があります。
(2)皮膚(特に傷口等)に付着したり、眼に入ると炎症を起こすことがあります。
多量に飲み込んだり、粉じんを吸入した場合には中毒症状を起こす恐れがあります。
下記の注意事項を必ずお読み頂き、お取扱いください。

注意事項

(1)取扱い上の注意(溶融前の状態)
a. 袋からこぼれた場合は、粉じんが立たないうちに処理してください。
b. 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
c. 眼に入った場合は、多量の水で洗い、出来るだけ早く、医師の診断を受けてください。
(2)保守･保管上の注意(溶融前の状態)
a. 常に雨水に濡れない場所に保守･保管してください。
b. 子供やペット等に触れられない場所で保管してください。
c. 屋外にて一時保管する場合は、養生シート等をかぶせ、雨水や露が袋の表面につかないようにしてください。
(3)溶融中の注意
a. 非溶袋式ですので、袋は仕込まず、中身だけ仕込んでください。
b. 換気を良くし、粉じんやガス等を吸い込まないようにしてください。
c. 材料が高温のため、取扱い時は長袖、長ズボン、前掛、保護眼鏡、保護面、保護手袋等を必ず着用し、皮膚が露出しないようにしてください。
d. 溶融時にこぼれた場合は、塗料が冷却するまでそのままの状態にし、冷却後削り取ってください。(すぐに触るとやけどします)
(4)塗装中･廃棄上の注意
a. 換気を良くし、粉じんやガス等を吸い込まないようにしてください。
b. 材料が高温のため、取扱い時は長袖、長ズボン、前掛、保護眼鏡、保護面、保護手袋等を必ず着用し、皮膚が露出しないようにしてください。
c. 塗装時にこぼれた場合は、塗料が冷却するまでそのままの状態にし、冷却後削り取ってください。(すぐに触るとやけどします)
d. 中身を使い切ってから廃棄してください。
(5)取扱い後の注意
a. 取扱い後は、手洗い、うがいおよび鼻孔洗浄を充分に行ってください。
(6)もしもの場合
a. 溶融中および塗装中、皮膚に付着した場合は、直ちに水で冷却し、大至急、医師の診断を受けてください。
b. 溶融中および塗装中、眼に入った場合は、直ちに多量の水で冷却し、大至急、医師の診断を受けてください。

アトミクス株式会社

■道路事業部　〒174-8574　東京都板橋区舟渡 3-9-6　TEL(03) 3969-1552(直通)　FAX(03) 3968-7300

■営　業　部	〒174-8574	東京都板橋区舟渡3-9-6	TEL(03)3969-1552(直通)	FAX(03)3968-7300
■受注センター	〒346-0101	埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼6	TEL(0480)85-3111(代表)	FAX(0480)85-3112
■大 阪 支 店	〒574-0053	大阪府大東市新田旭町2-22	TEL(072)872-3111	FAX(072)872-1222
■札幌営業所	〒001-0014	札幌市北区北十四条西 1-2-5 (三晃ビル 403)	TEL(011)738-6070	FAX(011)738-6071
■仙台営業所	〒982-0011	仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F)	TEL(022)249-7371	FAX(022)249-7372
■新潟営業所	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル)	TEL(025)244-8011	FAX(025)244-8012
■名古屋営業所	〒462-0043	名古屋市北区八代町1-9(北村ビル2F)	TEL(052)914-3900	FAX(052)916-0892
■広島営業所	〒739-1734	広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル)	TEL(082)845-2202	FAX(082)845-2203
■福岡営業所	〒812-0863	福岡市博多区金の隈1-33-31	TEL(092)503-5200	FAX(092)503-5308
■久 喜 工 場	〒346-0101	埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼6(久喜菖蒲工業団地内)	TEL(0480)85-7931	FAX(0480)85-3112
■岡 山 工 場	〒708-1312	岡山県勝田郡奈義町柿502-11(東山工業団地内)	TEL(0868)36-7000	FAX(0868)36-7010
■加 須 工 場	〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL(0480)65-1159	FAX(0480)65-7146
●本　　社	〒174-8574	東京都板橋区舟渡3-9-6	TEL(03)3969-3111(代表)	FAX(03)3968-7300